|  |
| --- |
| 議事録 |
| 会議の名称 | 令和２年度　第３回戸田市情報化推進計画検討委員会 |
| 開催日時 | 令和２年１２月１７日(木)10:30～11:40 | 場所 | Web会議（Microsoft Teams）戸田市役所本庁舎501会議室 |
| 委員長氏名 | 吉浦　紀晃 |
| 出席者氏名 | 学識経験者埼玉大学　　　　　　　　　　　　吉浦　紀晃 |
| 市民代表Code for TODA　　　　　　　　　 伊藤　利昭国際交流協会　　　　　　　　　 宇津　宏 |
| 戸田市危機管理防災課長　　　　　　　　石原　亮政策秘書室長　　　　　　　　　　住野　昌洋庶務課長　　　　　　　　　　　　増澤　直哉経営企画主幹（代理出席）　　　　長谷川　昌之税務課長　　　　　　　　　　　　西口　学市民課長　　　　　　　　　　　　早川　和男協働推進課長　　　　　　　　　　遠藤　康雄経済政策課長　　　　　　　　　　野崎　実治障害福祉課長　　　　　　　　　　鎌田　陽子こども家庭課長　　　　　　　　　石橋　晴美都市計画課長　　　　　　　　　　熊木　智洋教育総務課長　　　　　　　　　　粟津　典浩生涯学習課主幹（代理出席）　　　吉田　雅也 |
| 欠席者氏名 | 戸田市ITボランティアの会　　　 清水　久雄 |
| 事務局 | 総務部情報政策統計課　大山　水帆次長、山道　敏雄主幹、島田　敬生副主幹、平田　純主任ＩＴｂｏｏｋ株式会社　小林　啓男、西尾　新一、甲斐　実結 |
| 配付資料 | 資料１：　市民アンケート比較資料２：　庁内アンケート結果資料３：　庁内ヒアリング結果資料４：　戸田市第３次情報化推進計画目次（案）資料５：　基本目標ごとの重点施策（案）参考資料１：　市民アンケート調査票参考資料２：　行政のデジタル化に向けた庁内アンケート参考資料３：　デジタル化状況調査票参考資料４：　申請・届出確認 |
| 議題 | 1. 市民アンケート実施結果について
2. 庁内アンケート及び庁内ヒアリングについて
3. 戸田市第３次情報化推進計画目次（案）について
4. その他
 |
| 議事録確定 | 令和３年１月１２日　　　委員長氏名　吉浦　紀晃 |
| 発言者 | 議事内容 |
| **事務局****（戸田市）****委員長****熊木課長****事務局****（戸田市）****委員長****事務局****（戸田市）****委員長****事務局****(ITbook)****市民代表****(宇津氏)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(戸田市)****市民代表****（伊藤氏）****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(ITbook)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****粟津課長****事務局****(戸田市)****粟津課長****事務局****(戸田市)****市民代表****（宇津氏）****事務局****(戸田市)****遠藤課長****事務局****(戸田市)****吉田主幹****事務局****(戸田市)****市民委員****(伊藤氏)****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****熊木課長****事務局****(戸田市)****事務局****(戸田市)** | 【１　開会】【２　議事】(１) 市民アンケート実施結果について…資料１について、事務局（ＩＴｂｏｏｋ株式会社）より説明。議題１について、意見・質問等があれば発言していただきたい。アンケートについて、20代の回答が少なく70代以上の回答が多くなっており年代に偏りがあるが、年代毎の発送件数や回答率等は分かるのか。アンケートは、人口比率と同等の比率で年代別に無作為抽出を行い発送している。特定の年代から回答が多くあった。発送時の年代の人数に偏りは無いか。無作為抽出であるため、偶然、特定の年代に偏ってしまう可能性があるのではないか。若年層の回答率が低い結果となったが、特定の年代を多くするなどの調整はしていない。発送時の年代について、詳細な人数はデータを改めて確認しておく。第２次後期計画策定時と今回で、年代の偏りが大きく異なるため、計画策定時には対応を考えるべきである。年代の偏りについては、回答結果をウェイトバック集計により調整している。２０代に関しては、ウェイトの調整をしていても統計的に意味のあるものにはならないのではないかという印象を受けた。同じ意見である。70代以上の回答が多いことを把握した上でアンケート結果を取り扱うべきである。(２) 庁内アンケート及び庁内ヒアリングについて…資料２、３について、事務局（ＩＴｂｏｏｋ株式会社）より説明。議題２について、意見・質問等があれば発言していただきたい。「業務をスマートフォンで行う」とはどのような業務が考えられるか。メールの確認や、グループウェアのアクセスをスマートフォンで行うなどか。強靭化によるネットワーク分離の関係で、外部からのメールやグループウェアの確認が制限されている。それをスマートフォンなどで可能にして欲しいとの要望だと思われる。テレワークの実施状況はどうか。現在は、テレワークで業務システムを利用することはできないため、職員の半数がテレワークで業務システムにアクセスできる環境を整えているところである。庁内アンケート、庁内ヒアリングともに、記載されている施策が市民向けのものと、庁内向けのものに分かりやすく分類して計画を策定すべきである。計画策定時には、市民向けの施策と庁内向けの施策を明確にして記載する。庁内ヒアリング結果について、対象課と主なポイントは各課から出た意見なのか。ご認識のとおり各課から出た意見である。記載されている意見が、各課で特有のものなのか、庁内全体へのものなのかを分類して記載すべきである。また、AIの利活用に対する意見の数が、庁内アンケートでは少ないのに対し、庁内ヒアリングでは多い。また、AIによる効率化の程度に疑問がある。（３）戸田市第３次情報化推進計画目次（案）について…資料４、５について、事務局（ＩＴｂｏｏｋ株式会社）より説明。議題３について、意見・質問等があれば発言していただきたい。以前、サービスを受ける際はマインバーカードを中心に個人認証を行っていくという話があったが、今回はマイナンバーカードの推進について目次に盛り込まれているか。また、市民個人へのWi-Fi整備等についての考えはあるのか。重点施策でマイナンバーに対する取り組みを記載する。市民個人へのWi-Fi整備等を計画に入れる事は難しい。市で、マイナンバーカードの推進目標は決めているのか。国の定める目標に沿った形で推進していく。「資料５」の第５次総合振興計画基本目標ごとの重点施策と「資料４」の関係はどのようなものか。「資料５」に記載の施策は第５次総合振興計画の情報化に特化した計画を基本目標に沿って推進していくものである。「資料４」は計画の目次案であり、「資料５」に挙げた施策は全て計画に反映し実施していくという点で関係している。「資料５」目標⑦の重点施策の「市民が参加する会議、セミナー等のオンライン化」に関して、市民個人へのWi-Fi整備等は難しいとのことだが、どう進めていくのか。ライセンス・機材・公共施設でのWi-Fi等、行政にてオンラインセミナーを開催できる環境から整備を行っていく。計画期間中にオンラインセミナーを開催可能にする。市民アンケート、庁内アンケート、庁内ヒアリングの結果をどのように計画に盛り込むのか。要望について実現可能なものは全て反映していくつもりである。新型コロナウイルスへの対応について計画に記載しないのか。新しい生活様式に対応するデジタル化については「背景」（第1章）に記載するとともに、施策として来庁しない手続き、テレワーク、オンラインセミナー等の反映によって盛り込む。「AIによる空き家対策」とは具体的にはどのようなものか。現在実装できる状況ではないが、総務省の実証事業のように、航空写真の前後の状況から建物の移動等のAIによる判定、また住民基本台帳の情報等を加えた空き家の判定等を検討している。「空き家対策」とは空き家を見つける事なのか。施策の一つとして、そのような空き家管理が必要だと考えられる。「空き家対策」のみの記載では分かりづらい。また、「資料３」の「補助金・助成金の電子化」を「補助金・助成金の申請の電子化」に書き換えるべきである。相談システム等、情報化ではないものも多い。「資料１」の結果が高齢者に偏っており、最もパソコンを使用しない世代の意見が大きくなってしまう事への対処、少数派意見の反映、割合を出す意味の有無について伺いたい。割合は傾向を見るのに有効である。多数派である高齢者の意見は優先して反映しなければならない一方で、子育て等の少数派の意見も拾っている。**議題４　その他**次回委員会は令和３年１月２１日木曜日を予定している。詳細については後日連絡する。※質疑なし |